

2022年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年10月13日

上場会社名 株式会社 トレジャー・ファクトリー 上場取引所 東
 コード番号 3093 URL <https://www.treasurefactory.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野坂 英吾
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 小林 英治 TEL 03-3880-8822
 四半期報告書提出予定日 2021年10月13日 配当支払開始予定日 2021年11月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2022年2月期第2四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	10,736	28.2	155	—	181	—	45	—
2021年2月期第2四半期	8,377	△7.6	△263	—	△222	—	△266	—

（注）包括利益 2022年2月期第2四半期 38百万円（－％） 2021年2月期第2四半期 △264百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	4.03	—
2021年2月期第2四半期	△23.51	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第2四半期	10,598	4,326	40.0
2021年2月期	10,417	4,311	41.1

（参考）自己資本 2022年2月期第2四半期 4,238百万円 2021年2月期 4,284百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	2.00	—	8.00	10.00
2022年2月期	—	8.00	—	—	—
2022年2月期（予想）	—	—	—	8.00	16.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	22,636	20.8	804	652.2	818	367.6	537	—

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期2Q	11,598,800株	2021年2月期	11,598,800株
② 期末自己株式数	2022年2月期2Q	386,131株	2021年2月期	386,131株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期2Q	11,212,669株	2021年2月期2Q	11,315,769株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する事項は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき記載したものであり、今後様々な要因によって異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大により、緊急事態宣言が複数回発出されたものの、経済活動の制限は特定の地域や業種に絞っての実施であったこともあり、全般的には消費活動は持ち直し傾向にあります。しかしながら、7月下旬からは新型コロナウイルス感染者が急拡大したことにより、7月まで回復基調にあった消費活動が8月は一時的に鈍化しました。

そのような中で、人々の断捨離習慣の定着や不用品の買取換金ニーズの増加から、身近なリユースショップの買取サービスへの底堅い需要があり、また、販売面でも、生活用品をお買い得に購入したいというニーズや自宅を快適に過ごすための家財の買い替え需要は、引き続き高い水準で推移しました。

当社グループにおきましては、そのようなリユースへの需要を受けて、新規出店を本格的に再開し、直営店を9店出店しました。また、店頭、宅配、出張などの各チャネルで買取が伸長し、既存店や新店での販売増加につながりました。グループ会社においては、2021年1月から連結決算に組み込まれたピックアップジャパンの売上が加わり、また、リユース事業を行うカインドオルは、インバウンド売上はまだ戻らないものの売上は回復基調にあります。販売費及び一般管理費では、単体で新規出店が順調に進んだことにより新店にかかる販売費及び一般管理費が前年同期比155,658千円増加し、また業績連動型新株予約権発行に伴う株式報酬費用が64,000千円計上されました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高10,736,162千円（前年同期比28.2%増）、営業利益155,229千円（前年同期は営業損失263,378千円）、経常利益181,202千円（前年同期は経常損失222,178千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は45,187千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失266,079千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次の通りであります。

(リユース事業)

連結売上が前年同期比28.2%増、単体の売上は同17.1%増、単体既存店が同11.3%増となりました。カテゴリ別では、前年同期にコロナ禍の影響を強く受けた衣料は前年同期比29.4%増と回復し、生活雑貨も同15.3%増となりました。一方で、電化製品は、前期第2四半期に特別定額給付金の国民への給付を受けて販売が大きく伸びたことの反動に加え、8月が例年よりも気温が低かったことからエアコンなどの夏物家電の販売が想定を下回り、前年同期比2.9%減となりました。また、ピックアップジャパンの売上が加わったこともあり、服飾雑貨は前年同期比56.0%増、ホビー用品は同60.5%増と高い伸びとなりました。また、EC販売は自宅でのショッピング需要に対し、自社ECサイトでの出品を強化し、単体自社サイトでのEC販売額は前年同期比63.2%増となりました。

仕入では、連結ではピックアップジャパンが加わったこともあり当期連結商品仕入高は前年同期比51.5%増、単体の仕入は同32.3%増となりました。単体の買取チャネル別では、持込買取が同40.1%増と堅調に推移し、店舗以外の買取チャネルでは、出張買取が同61.1%と大幅増となり、宅配買取も同29.9%増と引き続き好調に推移しました。

出店は、当第2四半期連結累計期間においては、単体にて総合リユース業態を3店、服飾専門リユース業態を4店、ブランド専門業態を2店、計9店出店しました。当連結会計年度末における店舗数は、単体で直営店141店、FC店4店の合計145店、グループ全体で合計212店となりました。

以上の結果から、売上高は10,450,765千円（前年同期比27.8%増）、セグメント利益は967,965千円（前年同期比117.3%増）となりました。

(その他)

レンタル事業の「Cariru」では、コロナ禍の中でも結婚式などのイベント需要を取り込み、レンタル事業の売上が回復し、前年同期比337.1%増と大幅な伸びとなりました。一方で、システム事業は、開発コストの増加等により営業損失が発生しました。

以上の結果から、売上高は309,692千円（前年同期比39.2%増）、セグメント損失20,307千円（前年同期はセグメント損失44,551千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、商品が376,187千円増加、建物及び構築物(純額)が161,196千円増加、敷金及び保証金が110,651千円増加、現金及び預金が512,956千円減少したこと等により、前連結会計年度末と比較して181,196千円増加し、10,598,752千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、1年内返済予定の長期借入金が78,306千円増加、未払法人税等が93,474千円増加、長期借入金が116,347千円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して165,953千円増加し、6,272,169千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、新株予約権が66,819千円増加し、親会社株主に帰属する四半期純利益を45,187千円計上したこと等により、前連結会計年度末と比較して15,242千円増加し、4,326,583千円となりました。

(キャッシュ・フローの分析)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ512,956千円減少し、1,424,377千円となりました。また当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは132,335千円の支出(前年同四半期は125千円の収入)となりました。これは主に減価償却費153,342千円、税金等調整前四半期純利益123,097千円があった一方で、たな卸資産の増加額414,663千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは493,369千円の支出(前年同四半期は190,622千円の支出)となりました。これは主に店舗新設に伴う有形固定資産の取得による支出273,235千円、敷金及び保証金の差入による支出121,249千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは108,286千円の収入(前年同四半期は255,495千円の収入)となりました。これは主に長期借入れによる収入530,000千円があった一方で、長期借入金の返済による支出335,347千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明

当社グループは、リユース事業の成長、新規事業への投資、海外市場での成長、M&Aによる成長という4つの成長戦略を掲げ、中期損益計画達成に向けて取り組みを進めております。当期においては、年間出店目標15~20店を掲げ、第2四半期累計期間では9店の出店が完了し、下半期も本資料発表時点で7店の出店を見込んでおり、関東、関西、中部と地域もバランスよく出店が進んでおります。

第2四半期連結累計期間においては、7月から8月にかけて前年同期からの反動と気温低下の影響で一時的に販売が鈍化したものの、連結売上、連結利益とも計画を上回って推移しました。下半期は、9月に入って季節の切り替えも進んだことから、単体既存店は前年同期比4.1%増となり、足元では新型コロナウイルス感染者も減少し、安定した営業環境となっております。

一方で、業績連動型新株予約権発行に伴う株式報酬費用の追加計上の可能性があること、今後も新型コロナウイルスの感染の再拡大の可能性がありその場合の業績への影響が不透明であることから、通期業績予想は据え置いております。

以上を踏まえて、2022年2月期の通期の連結業績予想につきましては、2021年4月14日に発表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,994,170	1,481,213
売掛金	548,801	535,814
商品	3,568,686	3,944,874
その他	516,921	525,747
流動資産合計	6,628,580	6,487,649
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	948,213	1,109,409
土地	446,949	446,949
その他(純額)	206,709	243,648
有形固定資産合計	1,601,872	1,800,007
無形固定資産		
のれん	169,885	101,662
その他	121,662	135,035
無形固定資産合計	291,547	236,697
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,541,401	1,652,052
その他	354,153	422,345
投資その他の資産合計	1,895,555	2,074,398
固定資産合計	3,788,975	4,111,102
資産合計	10,417,555	10,598,752

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	61,452	57,823
短期借入金	1,672,987	1,674,967
1年内返済予定の長期借入金	600,290	678,596
未払法人税等	68,756	162,231
賞与引当金	273,882	310,467
返品調整引当金	18,822	23,626
ポイント引当金	50,376	52,959
受注損失引当金	—	20,173
その他	1,239,393	1,020,251
流動負債合計	3,985,961	4,001,096
固定負債		
長期借入金	1,514,595	1,630,942
資産除去債務	583,214	610,698
その他	22,444	29,432
固定負債合計	2,120,254	2,271,073
負債合計	6,106,215	6,272,169
純資産の部		
株主資本		
資本金	521,183	521,183
資本剰余金	456,183	456,183
利益剰余金	3,624,479	3,579,965
自己株式	△317,732	△317,732
株主資本合計	4,284,113	4,239,599
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	31	△1,427
その他の包括利益累計額合計	31	△1,427
新株予約権	—	66,819
非支配株主持分	27,194	21,590
純資産合計	4,311,340	4,326,583
負債純資産合計	10,417,555	10,598,752

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
売上高	8,377,476	10,736,162
売上原価	3,223,149	4,105,444
売上総利益	5,154,327	6,630,717
返品調整引当金戻入額	20,076	18,822
返品調整引当金繰入額	29,262	23,626
差引売上総利益	5,145,140	6,625,914
販売費及び一般管理費	5,408,519	6,470,684
営業利益又は営業損失(△)	△263,378	155,229
営業外収益		
受取利息	360	242
自販機収入	6,251	7,591
助成金収入	24,122	11,877
受取手数料	—	6,617
その他	13,612	12,452
営業外収益合計	44,346	38,780
営業外費用		
支払利息	2,523	6,339
為替差損	—	5,964
その他	622	503
営業外費用合計	3,146	12,806
経常利益又は経常損失(△)	△222,178	181,202
特別利益		
新株予約権戻入益	6,619	—
特別利益合計	6,619	—
特別損失		
固定資産除却損	911	1,934
減損損失	—	56,171
特別損失合計	911	58,105
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△216,471	123,097
法人税、住民税及び事業税	11,871	108,820
法人税等調整額	39,555	△25,306
法人税等合計	51,427	83,513
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△267,898	39,583
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,819	△5,603
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△266,079	45,187

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△267,898	39,583
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,102	△1,459
その他の包括利益合計	3,102	△1,459
四半期包括利益	△264,795	38,124
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△262,976	43,728
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,819	△5,603

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△216,471	123,097
減価償却費	141,057	153,342
減損損失	—	56,171
のれん償却額	12,051	12,051
株式報酬費用	—	64,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,492	36,585
ポイント引当金の増減額(△は減少)	1,516	2,583
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	20,173
返品調整引当金の増減額(△は減少)	9,186	4,803
受取利息及び受取配当金	△400	△273
支払利息	2,523	6,339
為替差損益(△は益)	△3,970	5,966
助成金収入	△24,122	△11,877
新株予約権戻入益	△6,619	—
固定資産除却損	911	1,934
未払消費税等の増減額(△は減少)	122	△148,692
売上債権の増減額(△は増加)	34,184	12,986
たな卸資産の増減額(△は増加)	216,491	△414,663
仕入債務の増減額(△は減少)	2,474	△3,628
その他	△61,170	△38,712
小計	116,258	△117,812
利息及び配当金の受取額	400	270
利息の支払額	△2,571	△6,286
助成金の受取額	24,122	11,877
法人税等の支払額	△138,084	△20,383
営業活動によるキャッシュ・フロー	125	△132,335
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△92,582	△273,235
無形固定資産の取得による支出	△49,215	△41,259
敷金及び保証金の差入による支出	△36,934	△121,249
敷金及び保証金の回収による収入	9,000	6,824
その他	△20,889	△64,450
投資活動によるキャッシュ・フロー	△190,622	△493,369
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	326,324	1,980
長期借入れによる収入	280,000	530,000
長期借入金の返済による支出	△262,082	△335,347
配当金の支払額	△90,519	△89,639
その他	1,773	1,293
財務活動によるキャッシュ・フロー	255,495	108,286
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,072	4,461
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	72,072	△512,956
現金及び現金同等物の期首残高	1,618,631	1,937,333
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,690,703	1,424,377

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

繰延税金資産の回収可能性及び固定資産の減損損失等の会計上の見積りについて、四半期連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。新型コロナウイルス感染症による当社グループ事業への影響は、事業によって程度は異なるものの、2021年3月以降は例年並の業績が見込まれることを前提として会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書計上額 (注3)
	リユース事業				
売上高					
外部顧客への売上高	8,180,109	197,366	8,377,476	—	8,377,476
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	25,150	25,150	△25,150	—
計	8,180,109	222,517	8,402,626	△25,150	8,377,476
セグメント利益又は損失 (△)	445,510	△44,551	400,958	△664,336	△263,378

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、レンタル事業、システム事業、不動産事業を含んでおります。

(注2) セグメント利益又はセグメント損失の調整額は全社費用であり、主にセグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(注3) セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書計上額 (注3)
	リユース事業				
売上高					
外部顧客への売上高	10,450,765	285,397	10,736,162	—	10,736,162
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	24,295	24,295	△24,295	—
計	10,450,765	309,692	10,760,457	△24,295	10,736,162
セグメント利益又は損失 (△)	967,965	△20,307	947,657	△792,428	155,229

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、レンタル事業、システム事業、不動産事業を含んでおります。

(注2) セグメント利益又はセグメント損失の調整額は全社費用であり、主にセグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(注3) セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」に含まれるシステム事業において、収益性が低下し投資額の回収が見込めなくなった資産(のれん)について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

当該事象によるのれんの減少額は、当第2四半期連結累計期間においては、56,171千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

(固定資産に係る重要な減損損失)に記載の通り、「その他」に含まれるシステム事業において、のれんの減損損失を計上したため、のれんが減少しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。